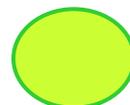


「女性は森林を必要としている、 林業は女性を必要としている」



1

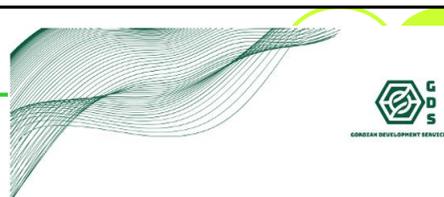
九州大学大学院農学研究院・教授

佐藤宣子

1

2 本日の話題提供の流れ

1. タイトルと個人的経験
2. 日本の森林・林業分野におけるジェンダー状況
 - ・統計書から見えること
 - ・森林・林業白書でのジェンダー視点
3. 北欧でのジェンダー平等の取り組み紹介
4. 日本の森林分野でのジェンダー問題の解決に向けて
森林認証審査にどう取り込めるか？

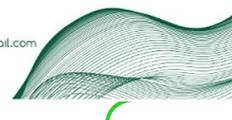


**FSC GREEN PAPER FOR GENDER
EQUALITY:**

**BENCHMARKING THE GLOBAL
STATE OF GENDER AND FORESTS**

**A paper prepared for the Forest
Stewardship Council
December 2021**

Jiska de Groot
gardiandevelopmentsservices@gmail.com



2

3

1. タイトルと個人的経験

➤ タイトル：ノルウェー女性林業協議会 (1986年設立)

会員勧誘のキャッチコピー

「KVINNERI SKOGBRUKET」

英訳：Women in Forestry

<https://www.kvinneriskogbruket.no/>

会員数：約300名

森林所有者、林業家、林業労働者

学生、公的・民間の林業従事者

森林を愛する女性



ポッドキャスト

<https://www.kvinneriskogbruket.no/>

3

3

4

1. 個人的経験

➤ 学生時代～30歳代

1980年 九州大学入学

1981年 林学科に進学（15人中3名女子学生）

1921（T10）林学科創設後はじめて複数人の学年、過去3名は紅一点、

実習どうする？コンパ後は「山の子の歌」「山の男を誰が知る」

→その後、常に複数人の女子学生→林業職公務員他、森林組合職員、

民間会社、地域おこし協力隊として輩出

最近の女子学生比率は約3割で推移

1989年 大分県まご研究指導センター研究員、その後1993年、九州大学教員に着任

1993年、1995年に出産「子連れフィールドワーカー」

「女性初の」「女性の意見を」「〇〇委員会の女性比率を高めるため」

2000年以降 海外研究、国際学会参加 女性多く、ダイバーシティ環境で楽に

4

4

5

国際研究機関に位置づけられているジェンダー研究

Units in Division VI

6.00.00 Social Aspects of Forests and Forestry

6.01.00 Forest recreation and nature-based tourism

6.02.00 Landscape planning and management

6.04.00 Nature conservation and protected areas

6.05.00 Forest conflict management

6.06.00 Forest, trees and human health and wellbeing

6.07.00 Urban forestry

6.08.00 Gender and Forest Science: Practice to Policy

6.09.00 Forest education

6.10.00 Rural Governance and Forest Tenure in Tropics

国際森林研究機関連合のロゴと分科会構成



Divisions

IUFRO's field of scientific activity is spread over a number of Divisions.

① Silviculture

② Physiology and Genetics

③ Forest Operations Engineering and Management

④ Forest Assessment, Modelling and Management

Small-scale Forestry

⑤ Forest Products

⑥ Social Aspects of Forests and Forestry

⑦ Forest Health

⑧ Forest Environment

⑨ Forest Policy and Economics

5

6

フィンランドでの小規模林業経営分科会（2001年3月）での出来事

- スウェーデン系カナダ人のJoakim Hermelinさん
「Independentを感じる声」
- フィンランド女性研究者の働き方
妊娠7ヶ月で国際会議の事務局、雪山を
クロスカントリースキーで案内
「大丈夫？ 配慮が足りないのでは？」
「何か助けが必要であれば、申し出る
ので気にしないいい」



写真：佐藤撮影（2001.3）

6

6

7 2. 日本の森林・林業分野におけるジェンダー状況 1：国勢調査

男女別林業就業者数と地位別内訳

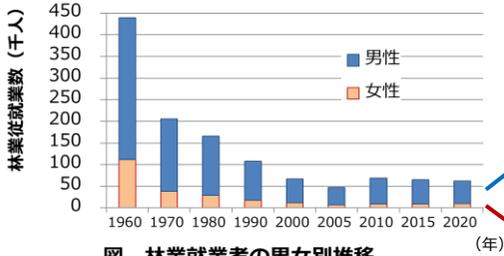
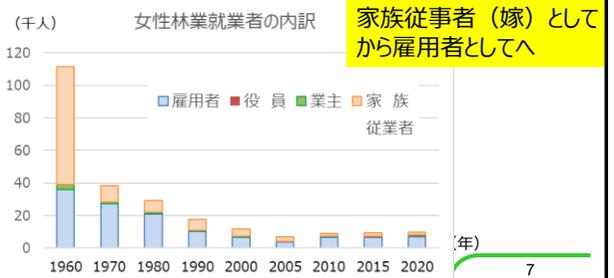


図 林業就業者の男女別推移
資料：国勢調査各年版

資料：国勢調査結果より作成



8 2. 日本の森林・林業分野におけるジェンダー状況 2：国勢調査

作業種別に応じた男女別従事者数の推移



資料：国勢調査結果より作成

注：就業している産業は調査年の9月24日～30日の一週間に最も長く仕事をしてきたものである。そのため、兼業や季節的、一時的に林業に従事しているものは把握されない。この点、留意する必要がある。

9 2. 日本の森林・林業分野におけるジェンダー状況 3: 森林組合統計

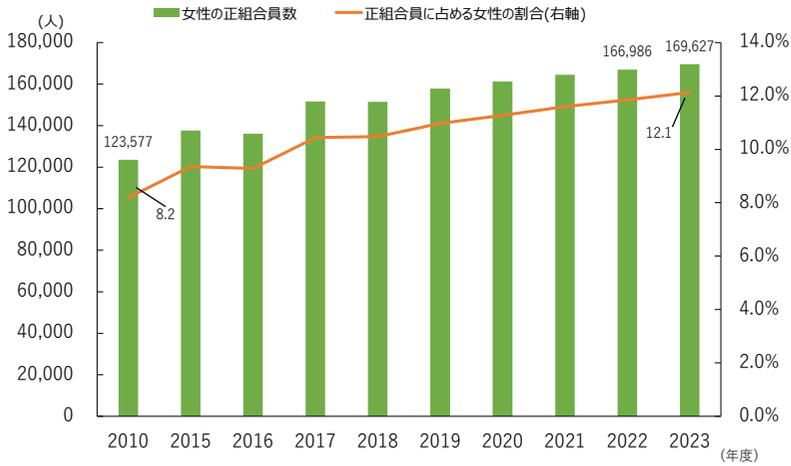


図 森林組合における女性の正組合員数と割合の推移

資料：林野庁（2025）「令和6年度森林・林業白書」および森林組合統計から作成

森林組合員（森林所有者）に占める女性比率が徐々に高まる

ただし森林組合統計では年齢は不明

田村（2017）
農林業センサスの個票データ分析

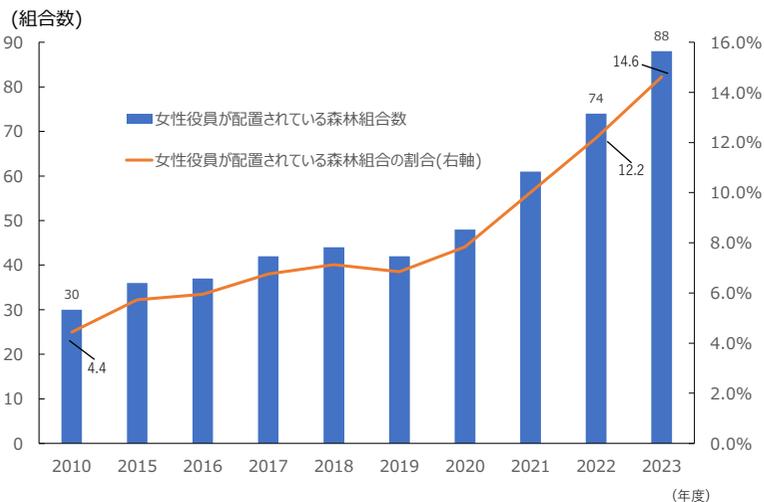
1人世帯の場合、女性比率が過半
林業生産活動が低調、平均年齢
男性よりも高い

女性森林所有者増加の背景

- 夫死亡後に高齢女性が継承
- 娘への継承
(篤林家でよく聞く)

9

10 2. 日本の森林・林業分野におけるジェンダー状況 4 森林組合統計



女性役員が配置されている森林組合数

資料：林野庁（2025）「令和6年度森林・林業白書」および森林組合統計から作成

女性役員を配置する森林組合数は2020年代になって顕著に増加

←森林組合法改正（2020）
第44条11：「理事の年齢及び性別に著しい偏りが生じないように配慮」

+全国森林組合連合会の2021年
Jforestビジョン2030

但し、理事総数に占める女性比率は低位（2023 森林組合統計）

常勤理事 1.5% (9/584)
非常勤理事 1.2% (73/6156)

*農業協同組合 8.6%

10

11 2. 日本の森林・林業分野におけるジェンダー状況 森林・林業白書

平成30（2018）白書で初めて森林組合の理事での女性比率が掲載

令和元（2019）白書で「女性参画」を掲げる

令和3（2021）白書で取組がコラムで紹介

女性活躍のプラス面：林業活性化に向けた
現場従事者不足の改善
業務の質の向上
職場内コミュニケーションの円滑化

男性も含めた「働き方改革」につながる
育休・産休、介護休暇等

コラム 林業活性化に向けた女性の取組

我が国では、戦後の拡大造林の時期において、女性の林業従事者の多くが造林や保育作業を担ってきた。しかし、これらの作業の減少に伴い、平成7（1995）年の10,468人から平成27（2015）年の2,750人と大きく減少している¹⁾。一方、伐木・造材・集材従事者においては直近の5年間で610人から690人と13%の増加に転じており、高性能林業機械やICT等の普及により、林業現場で女性が働ける環境が整っていることが一因と推察される。

近年、森林経営管理制度の導入等により高精度な森林情報が重視される中、ドローンや最新のICT機器を活用した森林調査への需要が高まっており、こうした場面でも女性の活躍が期待される。

また、指導的地位における女性の活躍も重要である。森林組合における女性理事の人数は、平成28（2016）年度では30人だったが、令和3（2021）年度には45人となり、着実に増加している²⁾。京都府の京丹波森林組合では、平成23（2011）年に当時の組合長が多様な意見を組合運営に反映させる目的で女性理事の就任を促してから常時女性理事が就任しており、平成26（2014）年度以降は役員改選に当たって3名の女性理事就任が定着している。

女性の活躍促進は、現場従事者不足の改善、業務の質の向上、職場内コミュニケーションの円滑化等、様々な効果をもたらす。女性が働きやすい職場となるために働き方を考えることや、車載の移動式更衣室やトイレの導入、従業員用シャワー室の整備等の環境を整えることが、男性も含めた「働き方改革」にもつながる。育休・産休や介護休暇等の制度とそれを取得しやすい環境整備も望まれる。

注1：女性の林業従事者数については、資料Ⅱ-15（103ページ）を参照。

注2：林野庁経営調査へ。



高原林産企業組合（栃木県）では、女性職員だけの素材生産班（ガールズユニット）を結成



フォワードによる集材作業

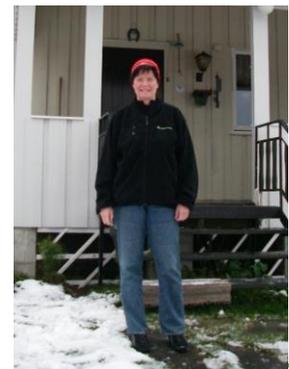
出典：林野庁「令和3年度森林・林業白書」107ページ

11

11

12 3. ノルウェー研究より

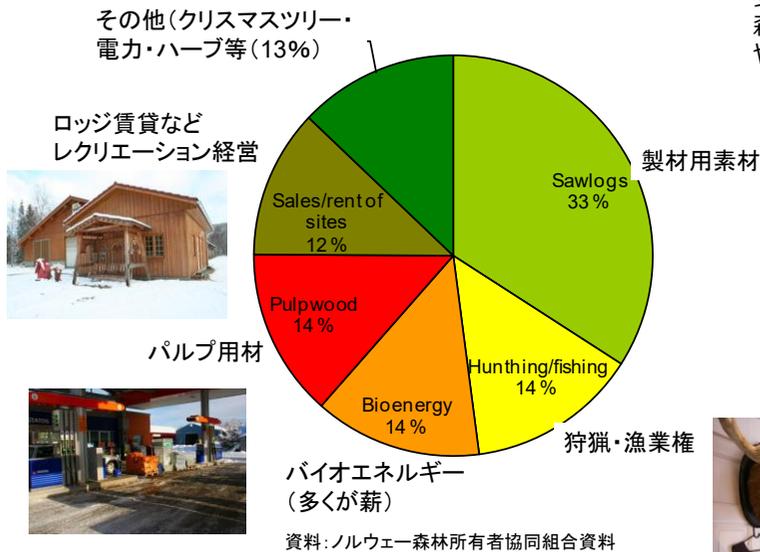
- ノルウェーにおけるジェンダー平等の法律改革
1974年法律の改正 長男への相続から第1子への相続を優先
(1965年1月産まれ以降)
- 女性林業協議会設立（1986年）女性林業者のグループ活動
活動資金は、森林信託基金（林業所得に4%以上の積み立て義務）の運用益から
- 1990年代に各分野のジェンダー主流化政策
協同組合理事は4割以上が女性または男性（義務化）
森林所有者の女性割合17%（1997）→24%（2008）



写真：佐藤撮影（2008，2011） 右端は協議会初代代表

12

森林所有者組合が示す林業収入構成の提案



北欧における森林・林業セクターのジェンダー統計

Table 8 Share and trends in female employees in public administration

Country	Administration	% Women	Trend
Norway	LMD	27	0
	Landbruksdirektoratet	42	++
	FMLA	32	
Sweden	Skogsstyrelsen	27	0
Finland	Finnish Forest Centre	35	0
	Ministry of Agriculture and Forestry	60	+
	Metsähallitus (State Forest Enterprise)	30	+
Denmark	Naturstyrelsen	29	0
Iceland	Icelandic Forestry Service	40	

公的行政組織

Table 10 Present share and trend in female forest owners

Country	Owner Category	% women	Trend
Norway	Small scale Forestry	25	++
Sweden	Small scale Forestry	39	0
	Large scale Forestry (Board members)	30	+
Finland	Individual owners of forest land	41	+
Denmark	Small Scale Forestry	14	0
Iceland	Small Scale Forestry		

森林所有者

Table 12 Percentage and trends in female drivers within forest engineering companies. These figures are estimates provided by industry experts.

Country	Total number of drivers	% women	Trend
Norway	1 200	1	0
Sweden	12 000	4	0
Finland	6 000	1-2	+
Denmark	400	1	0
Iceland			

私的林業事業体の機械運転者

SNS (Nordic Forest Research), 2020, 総32ページ

Gender balance



in the Nordic forest sector
Birger Vennessland, Björg Björnsdóttir, Ann Dolling, Teppo Hujala,
Line Nybakken, Niels Strange and Sara Maria Hildebrand



<https://nordicforestresearch.org/gender-balance-in-the-nordic-forest-sector/>

15 4. まとめ：日本の森林分野のジェンダー問題の解決に向けて

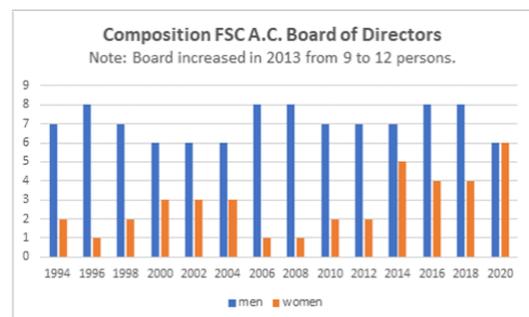
- 1990年代にジェンダー主流化政策を推進した北欧に比べて約30-40年遅れている。ジェンダー平等という言葉も敬遠されがち。
 - しかし、徐々に所有者や林業職公務員等、女性比率が高まる。
 - 森林組合運動として女性役員比率向上が意識
 - 政府としても人口減の中で、「多様な担い手」への位置づけ
- まずは現状把握 = ジェンダー統計の充実が必要
 - 孤立している女性の所有者、森林組合役職員、林業従事者、林業職公務員のグループ化、情報共有
 - 政策的のイニシアチブ、管理職の積極登用

15

15

16 さいごに：森林認証審査への示唆

- 絶対的基準指標での評価や女性従事者へのインタビューは難しい
- 従業員数の男女構成・年齢別把握
- 労働者の募集・応募・採用における男女比率
- 離職者の男女比率と理由を尋ねる
- 積極的採用（特に管理職登用）
事業体には加点をする？



出典：FSC(2021) 15ページ

16

16

- 佐藤宣子（2012）「林業は女性を必要としている～『ノルウェー女性林業協議会』設立の背景と活動～」『山林』1532:38-39ページ
- 佐藤宣子（2010）「ノルウェー」（白石則彦編著『世界の林業～欧米諸国の私有林経営』日本林業調査会所収）181-221ページ
- Sato,N., Kawasaki,A.(2010), Women's Status as Owners and Workers in Japanese Forestry, XX III IUFRO World Congress
- 田村和也（2017）「家族による保有山林経営と世帯構成」（藤掛一郎・田村和也編著『マイクロデータで見る林業の実像～2005・2010年農林業センサスの分析』J-FIC所収）157-174ページ
- SNS(2020) Gender Balance Report (<https://nordicforestresearch.org/wp-content/uploads/2020/10/201015-gender-broschyr-web.pdf>)<2026.2.13閲覧>
- Jisko de Groot（2021）Benchmarking the Global State of Gender and Forests (<https://fsc.org/sites/default/files/2022-03/Final%20Green%20paper%20on%20gender%20issues%20in%20forests%20PDF.pdf>)<2026.2.13閲覧>
- FSC（2021）Diversity and Gender in FSC
- 国勢調査
- 森林組合統計